

佐藤ゆかり議員、星田北・星田駅北への協力進める

令和3年度事業完成に向け現地視察

第2京阪高速に近く利便性が高い星田地区は、交野市と枚方市南部を商圈に結ぶ発展地域です。平成30年の事業本格化以降この4年間、国は総額14.3億円の国費を交付。実際、佐藤ゆかり議員の来阪以前は難航していた事業化も、議員の説得により国交省が新たな支援枠の創設で事業開始へ。令和3年度事業完成後も企業誘致に伴う子育て世帯向け保育園や学校整備など、佐藤ゆかり議員は活気ある街づくりを続けます。



コロナ禍から 命と街を守る 佐藤ゆかりの決意。

市立ひらかた病院から
コロナ対応を聞く

初回視察平成27年
before

その6年後、工事完成近づく
after

西村経済再生担当大臣へ
コロナ対策提言へ

田村厚生労働大臣へ
コロナ対策提言へ

飲食業と
薬剤師業と
理容業と
hanaくずは商店会と

病院はじめ多くの市民から
日々精力的にヒアリング

ワクチン接種を
打ち合わせる

交野市と

枚方市と

コロナワクチンの接種方法等、佐藤ゆかり議員は、枚方・交野の市民の皆様をはじめ、両市役所、各界事業経営者などから改めて精力的にヒアリングを実施、政策の隙間や目詰まりなどの課題や要望を丁寧に聞き取り、厚労省、経産省、内閣府はじめ国と関係省庁に必要な施策を迅速に伝達しています。枚方・交野の街が一日も早く、健康で安心な生活を取り戻せるよう、佐藤ゆかり議員は、コロナ禍の戦いからひとりもひとり残さず、全身全霊で対応しています。

コロナ禍の戦いに誰ひとり、
とり残さない!

続報 佐藤ゆかり議員、淀川橋梁地視察

令和3年度いよいよ本格測量とボーリング調査開始へ!

多くの枚方市民にとり、枚方大橋から八幡市御幸橋までの13kmの空白区間への橋の建設は長年の願いです。佐藤ゆかり議員は、2014年12月の衆議院選挙の際に、枚方市には、当時築47年の枚方大橋に加えて、災害対応も含めもうひとつ橋が必要であると公約しました。そして当選後から直ちに動き、翌2015年3月、太田国交大臣(当時)に対する北大阪商工会議所正副会頭による面会要望をセッティングし、同年5月国交省から佐藤ゆかり議員に橋の建設決定が報告されるという、異例のスピードで動きました。しかし、橋が府道となるため、仮設計や住民説明会を行う大阪府のもとで残念ながらその後5年もの期間が経過。しかし、いよいよ令和3年度からは、国が予算増額で、本格的に現地測量、用地測量、道路詳細設計や枚方市側河川内のボーリング調査を実施する段階に進みます。



佐藤ゆかり議員に託す子育てママの期待

エドテック教材の導入促進でギガスクール本格化へ

「コロナ禍でも大切な必要とされる集まりがある。」佐藤ゆかり議員は、コロナ禍で自粛中の子育てママ達の息抜きとおしゃべりの居場所づくりである「mother-to-be」(ママさん予定者)の会第2回を開催、お子さん連れて参加できるママさん達が、コロナ自粛下での子育て苦労について、佐藤ゆかり議員と語り合いました。ひとり親のママさん達も、工夫して頑張つております! その語らいの間、スタッフに温かく迎えられた子どもさん達も、床力ペットの上で伸び伸びお絵かきして楽しいひと時。35人学級法制もいよいよ国会成立です。タブレットをランドセルに、小学生のお子さん達にも、エドテック(電子教材)が早期導入され、有意義で実り多い学びの機会が広がりますよう、教職員の皆さんも佐藤ゆかり議員は支援します。ママさん達の会、今後もお気軽にご参加ください!



佐藤ゆかり議員、叶えよ高校生の願い!

淀川河川公園にバスケットコート整備実現も

枚方市駅ビオルネ前の定例街頭演説に立っていた佐藤ゆかり議員に、枚方市内バスケット部の高校生が、毎日練習できるバスケットボールコートが欲しいと窮状を訴えました。寝屋川公園まで練習に通っており、枚方河川敷にコートができるれば皆で頑張って試合成績を上げたいとのこと。その後高校生は1600名を超える住民署名を集めて再来、その熱心さを認めた佐藤ゆかり議員は、今年1月、地域コミュニティー代表者と高校生を連れて、国交省淀川河川事務所長に対する要望機会を設営。夢を叶えるため、熱意とともに積極的に行動する生徒さんを温かく受けとめる政治でありたい。これが佐藤ゆかり議員の想いです。その後、枚方市長への要望を経て、国交省でバスケットコートを整備検討中です。

